

大久野通信 vol.16

行く年の締め括り



今年の師走は例年になく寒さを感じたのは気のせいでしょうか。大久野倶楽部の活動拠点、紅葉は見事なのですが西側に山が迫っているため15時には陽が隠れて急に冷え込んできます。そんな中、1年の締め括りで2件のイベントが行われました。

INDEX

- ・イモ無しの芋煮会
- ・恒例の餅つき
- ・今後の展望

イモ無しの芋煮会

本場の芋煮は里芋であるとは知りつつ、 サツマイモの蔓が繁茂していた残暑の時期にこのイベントは企画されました。その後、そろそろ暖房が恋しい11月初旬にイノシシ被害で全てを失ったものの、イベントだけは決行しました。就農2年目で何とか形になった大根と白菜と下仁田ネギを主役に、海鮮とみそで超絶品の鍋を仕上げました。馴染みの台湾料理屋から副菜もテイクアウト、冷えた体を熱燗で温め、焚火に当たりながら、会社の枠を超えた仲間と楽しいひと時を過ごしました。



鍋と熱燗



配給の行列

恒例の餅つき

日の出三六会さんは、毎年師走に餅つきイベントを実施しています。自分たちが育てたもち米で、昔ながらの杵と臼を用いて餅にします。今年は大久野倶楽部も代掻きからコメ作りを体験しましたので、例年とは少々趣が異なります。気合十分で十数臼に挑みましたが、 イベント終了時には皆さん体力も限界に。来年は餅つき機との併用が良さそうです。



会場の全貌



餅つきの様子

今後の展望

恒例の師走イベントは無事に終了しました。寒さに震えるこの季節は、活動拠点に里山の風情が漂う美しい時期でもあります。これから春までの農閑期は、山や畑の整備に最適な季節です。枯れ草や雑木の伐採・処理、山道の整備、流石に埋もれた沢の再生、竹林整備、害獣に荒らされた畑の修復、等々やりたいことは盛り沢山です。さあ何から手を付けるか・・・今年の冬も汗を掻く、大久野倶楽部です。